



学校だより

墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子登志雄

令和4年6月1日

6月号



“RESPECT”はどう見えるか

校長 川中子 登志雄



6年2組・道徳「臓器移植について」

私は小学校の管理職になる前、中学校の英語の教師を20年以上やっていました。その間、指導補助教員（ALT）として、英語を母語としている外国人講師の先生方と一緒に仕事をしました。

授業を受ける中学生が、ものの見方・考え方や生活習慣が違う外国から来た先生と、些細なことでトラブルをおこすことがよくありました。私は、その都度、仲裁に入ったり指導をしたりしなければなりません。そんなとき、外国人講師の先生方の話を聞くと、必ずといっていいほど「生徒たちには（私に対する）“RESPECT”がない。“RESPECT”がなければ教えることはできない。」ということを言われます。

“RESPECT”は、最近「リスペクト」とカタカナになって日本語の一部となっていますが、英語の方は日本語の「リスペクト」よりも、もっと深い意味があるようです。辞書で調べてみると、いくつかの意味があるようですが「①尊敬、敬意 ②尊重、重

視」という名詞と、「①尊敬する、敬う ②尊重する、重んずる、（規則・道徳律など）を守る」という動詞が関係ありそうです。（ジーニアス英和辞典第4版・大修館書店より）

カタカナの「リスペクト」は、主に「尊敬、尊敬する」という意味で使われているようですが、私に態度の悪い生徒のことを話す先生方が言っていたのは、少しニュアンスが異なるものでした。実は昨年度、本校でも同じような問題が発生し、本校のNT（ネイティブ・ティーチャー）のダーラ・コーネット先生からまったく同じ話を聞きました。私はダーラ先生のお話をわかりやすく子供たちに伝えるために、改めて“RESPECT”について調べてみました。ちょうどオーストラリアの公的オンライン・相談室「キッズ・ヘルプ・ライン」のホームページに良い説明を見付けることができ、それを紹介することにしました。一言で説明するのが難しい言葉ですが、こちらの説明を見て、改めてその言葉の意味するところに気付かされました。

What does respect look like?



Think about all the different situations in life where you have to get along with others – how do you know if there's respect in your relationship?



You feel safe being around each other



You know it's ok for both of you to express who you are



When you disagree you listen to each other and be patient



You don't yell or talk over the top of each other



Neither of you are controlling the other person's choices



You both talk openly about your needs and wants



You both allow the other person space if they need it



You can both admit when you've made a mistake

「RESPECT」はどんなふうに見える？」

他の人と一緒に生活するいろいろな場面について考えてみましょう。あなたたちの関係の中には「RESPECT」があるのかどうか、どうやったら分かるかな？

(“RESPECT”のある人たちは…)

- お互いに安心してそばにすることができる
- 本当の自分を相手に見せても大丈夫だと思っている
- 意見が合わないときも、辛抱して相手の言うことに耳を傾けている
- 大声で叫んだり、怒鳴りあったりしない
- お互いに、相手の選択を制限しない
- 自分が必要なことや、こうしてほしいってことを気軽に話すことができる
- お互いに、相手が必要な時は、そっとしておいてあげられる
- お互いに失敗してしまっても分かってあげられる

<https://kidshelpline.com.au/teens/issues/all-about-respect>

私は、「RESPECT」を「尊敬する、尊重する」というよりも、相手の存在を「大切に思う（気持ち）」と訳してみたいと思います。儒教の影響を強く受けている日本では「目上の人を敬う」という考え方は常識となってききましたので、生徒が先生に敬意を払うのは当たり前だと思われるかもしれませんが、英語の“RESPECT”の意味するのは、目上だから下だからということと関係なく、相手の存在そのものを大切にする、尊重するということです。英語を話す国の人たちが、こういう人間関係をとても大切にしていることが分かります。そしてこれは、本校の教育目標「共生 思いやりをもち、共に生きる人」に必要な資質です。

ところで、このところ、マスクをつけるべきか外すべきかを国に決めてもらいたい、という意見をよく耳にします。国は国でそういう意見に応えようと努力している様子がうかがえます。日本ではマスクの着用は法的な拘束力をもつものでも、義務でもありませんから、つけるかどうかを決めるのは自分自身です。誰かに決めてもらうようなものではありません。このような状況が示すのは、日本人の**主体性**の欠如であり、国際的に見て我々が非常に後れをとっている部分です。それよりもっと大切なのは、どちらを選択するにしても、相手の選択を非難したり中傷したりするのではなく、話し合い、認め合おうという態度です。

自ら学び、考え、行動する上でも、常に“RESPECT”を大切にしたいものです。



体育学習におけるマスクの着脱について

- 1 屋内外問わず、体育学習において児童はマスクを外して授業を行うこととする。ただし、屋内では換気を徹底し、密閉を避けた状態を保つこととする。
- 2 外したマスクは、衛生面を考慮し、下部写真のようにマスクのケースに入れて、洗濯ばさみなどで風通しのよいところにかけることとする。

○保護者の方へのお願い○

昨年度の水泳学習と同様に、指導中のマスクの保管方法を通常の体育学習でも行うこととなります。マスクを入れる袋(メッシュ素材が好ましい)と洗濯ばさみの用意をお願いいたします。マスクを入れる袋には、洗濯ばさみで留められるように、紐等がついているものをご用意ください。記名も忘れずをお願いいたします。

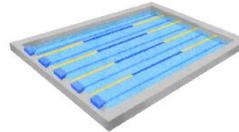


〈行事の様子〉

水泳指導

6月20日より、水泳指導が始まります。今年度は、十分な感染症対策、熱中症対策を行いながら学年ごとに分かれて指導を行う予定です。後日、詳細が書かれたお手紙を各ご家庭に配布いたしますので、ご確認をお願い致します。

- ◆健康観察表に保護者の同意印がある場合のみ、水泳指導に参加することができますので、毎日の体調チェックと、健康観察表への記入を引き続きお願い致します。
- ◆安全管理上、水着等の持ち物の型や名前の記入等様々なお願いをさせていただきます。学年便りや学校からのお知らせをお読みいただき、ご準備をお願い致します。
- ◆今年度も夏休み期間の水泳指導を予定しております。後日お配りする参加申込書を提出したお子さんが参加することができます。詳細につきましては、改めてご連絡致します。



体育的行事部

〈学年の様子〉

2年生 「はじめての遠足」

5月2日に2年生は学校生活はじめての遠足に行ってきました。心配していた雨も上がり、とてもいい遠足日和となりました。旧中川土手では、土手滑りや自然観察をしました。

「先生！もう5回も滑ったよ!」「背中を倒すと早く滑れるよ!」など、夢中になって何度も何度も（まるでトレーニングのように…）滑っている姿を見て、2年生の体力は無限だと感じました。また、学校の中ではなかなか見つけられない植物や昆虫をみつけて、じっくり観察している子、花を摘んで花束や花冠を作っている子もいました。新平井橋公園では、広い公園で元気いっぱい走り回ってヘトヘトに…。帰り道はさすがの2年生も少し疲れている様子でした。学校に戻ると、子供たちお待ちかねのお弁当の時間。残念ながら教室で食べることになってしまいましたが、色とりどりのお弁当が開かれ、みんなとてもおいしそうに食べていました。早朝からのお弁当づくり、ありがとうございました。

2年 担任



土手滑り!楽しい!



テントウムシみつけたよ!



鬼ごっこ!逃げるぞ!



花束をつくったよ!

道徳授業地区公開講座 ご参加ありがとうございました

5月21日(土)に行われました、今年度の道徳授業地区公開講座は、2校時の全学級道徳授業の公開と3校時の公開講座として開催いたしました。公開講座には、コロナ以前よりも多い、60名を超える保護者の皆様にご参加いただき、東京都小学校道徳教育研究会顧問の木村良平先生のご講演をお聞きいただきました。

公開講座の様子は、学校ホームページの「校長室動画通信」のコーナーにて、視聴することができますので、参加できなかった皆様はぜひご覧ください。



<http://www.sumida.ed.jp/sanazumasho/shokai/Onlinemeeting2021.html>

《参加された皆様の感想より》 * ()内はお子さんの学年です



都小道徳教育研究会顧問・木村良平先生

○色々子どもとの関わりで難しく感じるコトが多くなってきていますが、子どもの大事さを再確認させられました。最後まで視聴したかったのですが、子どもが心配で途中退席しました。出来れば時間内で終わらせて頂きたかったです。またぜひとも木村先生のお話をお聞きしたいのです。(1年、3年)

○自我が強くなってきて、怒る場面も増えていたので、とてもためになりました。(1年)

○下校時刻を過ぎてしまい、残念ながら退席してしまい、最後までお話を聴けませんでした。対面で開催されてよかったです。また次の講座も楽しみに

しております。親の背中をみて子は育つ。わかっているんですが、親も吐き出さなきゃストレスになってしまう時でも、家庭は女神のように穏やかでいなければならないのは現代社会ではなかなか厳しい現状です。今回のような講座を受けて、意識改革のきっかけになりますが、なかなか難しいです。(1年、6年)

○素敵な講座を開催していただきありがとうございました。講師の先生の人柄が素晴らしく、話がずっと耳にはいりました。先生がお子さんを授かった時のお話や、教師生活を通しての体験や学びを話して下さった事など、とてもありがたかったです。上手にも下手にも良きところ必ずあるなり。とのこと。この考えだと、プラス思考になれそうです！ 未来の蕾でいっぱいの子を育てている感謝がわき、出産時の喜びを思い出しました。なにも出来てない私には耳の痛い内容もありましたが、自分の子育てにも良きところもあると思いたいです。もっとお話をお聞きしたかったです。本から学べますが、実際に話をお聞きする機会はとても貴重でした。生活に活かそう講座に学校で参加出来る様、次回も期待します。よろしくお祈りします。時間や日程などもちょうど良かったと感じました。メールでも、数回お知らせ頂いたのは助かりました。ありがとうございました。(3年)

○言葉ではっきりと聞けたことでなんとなく感覚的だったことが自分のなかではっきりさせることができました。このような講座を開催いただき、ありがとうございました。(5年)

○とても良い講座でした！家庭での子供の接し方や、自分自身の考え方で色々な面で実践的な講義内容で、参加して良かったです。またこのような講座は開催して欲しいです。(2年)

○九つまでは躰をしっかりとるという話が印象に残ってます。家庭でも話題になりました。(2年)

○改めて子供との向き合い方を考えさせて頂きました。(2年、5年)

講演会が予定時間を超過してしまい、申し訳ございませんでした。